

令和2年度 ガイドライン推奨 放課後等デイサービス事業所 自己評価表 まとめ
令和2年12月 ひかり住吉

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8	2		・身体を動かす時はスペースを広げているが、限界があるためパーテーションやガレージ、個室を工夫して使っている。 ・ガレージ内を遊べるようにしてスペースを広く使えるように工夫している。 ・室内の人数が多い時は希望者とドライブに行ったりして室内を広く使えるように意識している。
	② 職員の配置数は適切であるか	8	2		・常勤換算値は充分である。男性職員はあと一名欲しいと思う。
	③ 事業所の設備について、バリアフリー等化の配慮が適切になされているか	7	3		・トイレは車椅子対応になっていない。万全とはいえない。 ・ガレージの降車場所に段差がある。ドアの取っ手位置も高い。 ・室内は段差も少なく安全である。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	9	1		・パートアルバイト職員にも会議に参加してもらい、常に良いモニタリングを行えるようにしている。 ・日々の終礼で、職員間で確認し合っている。 ・頻繁に会議を行っており、職員間で意見も言いやすい。
	⑤ 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9	1		・毎年未～1月間で満足度調査を行っている。日々の送迎や個別のご相談も含め、ご意見を頂戴している。 ・アンケート調査だけでなく、日々の送迎で情報収集を行っている。 ・アンケート調査だけでなく保護者から要望があった際はすぐに職員間で相談し、改善できるようにしている。 ・法人HPIにて公開している。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	8	1	1	・入っていない。法人の苦情解決第三者委員がいる。
適切な 支援の 提供	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	2	3	・入っていない。法人の苦情解決第三者委員がいる。
	⑧ 職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9		1	・希望者も含め、スキル、キャリアに応じた研修に参加している。OJTも行っている。 ・常勤職員だけでなく、非常勤勤務の方にも希望に応じて研修に参加していただいている。 ・積極的に研修の機会が設けられている。
	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	9		1	・PDCAサイクルの計画書を作成するために不可欠なので、全職員の意見も反映している。 ・毎日の送迎でのやり取りをアセスメントシートに反映させることもある。 ・細かく行っている。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	9	1		・視覚支援ツールを子どもの状態、発達、障がいの差によって使い分けている。 ・スケジュールタイプのカードを作成した。有効的に使用できる利用者が増えている。 ・視覚優位の方にはピクチャーカードを用いて視覚支援を行っている。 ・来所～手洗いまでスムーズに誘導できるような職員の立ち位置を意識している。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	2	1	・担当者を決める場合もあるが、大体は職員間で話し合っ決めていく。 ・1人で考えることなく、相談、協議の上で決めていく。 ・1人が考え、作成した後には他の職員と確認し合っている。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	4		・会議や日々の終礼等で見直すように心がけている。 ・記録を残していることで固定化せずに活動を行えている。 ・特化したプログラムはなく、利用者個々のこだわった遊びを優先している。 ・職員配置によって行える行事内容が変わるため、大人数の職員が必要と思われるような新しい行事はできないことが多い。 ・公園やドライブ以外の行事を増やしたい。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7	3		・全体ではなく、一人一人に合わせて支援を行っている。 ・新型コロナウイルス感染症予防のため、利用しやすい外出先が閉鎖されている所もあり、バリエーションが少ない。 ・保護者と相談し、「学校で疲れているからゆっくりさせてほしい。」「夏休み中に〇〇ができるようになってほしい。」等 課題を設定することがある。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	3		・個々の課題や支援に合わせて社会性を高められるような計画を作成するようにしている。
	⑮ 支援開始前には、職員間で必ず打合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	4		・細かい引継ぎを意識している。ドライバーにも説明して流れを理解して業務についてもらっている。 ・注意点が特に多い日や、確認事項の多少によって、打ち合わせの有無は存在する。情報共有の徹底も考え、できる限り支援開始前の打ち合わせは行いたい。 ・本来大切な作業ではあるが、時差シフトもあり、打ち合わせができない日もある。 ・非常勤職員やアルバイトの方々が出勤したタイミングで『昼礼』として確認している。 ・出勤している職員全員で出勤前に一日の流れを確認している。
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合わせをし、その日行われる支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	10			・終礼で一日の振り返りを行っており、引継ぎノートに残して、勤務がなかった職員にも共有できるようにしている。 ・⑮ができない日もあるため、細かく共有している。出勤していない職員にも共有できるように引継ぎノートを作っている。 ・19時までの勤務時間で、送迎帰所が19時ギリギリになった際は、引継ぎノートでの共有だけになることはあるが、翌日に必ず口頭で振り返りを行うようにしている。 ・引継ぎノートにその日の振り返りを残し、共有している。
⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10			・支援計画に基づいて記録を当日中にとり、モニタリング制作に役立てている。 ・ケース記録、引継ぎノートを確認しながら職員間で支援方法を議論している。 ・記録を密にとり、参考にして改善に繋げている。	
⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	9	1		・「少なくとも6ヶ月に1回」を厳守している。 ・モニタリング時期だけでなく、日ごろから細かい変化を記録し支援計画に反映するようにしている。 ・定期的なチェックと見直しを行っている。	
⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	8	2		・個別・集団(外出)・地域交流を組み合わせている。	
⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	8	2		・児童発達支援管理責任者だけでなく、状況に精通した職員が参加している。 ・区・保護者・相談支援事業所から指名されることもある。 ・先方の都合はもちろんであるが、こちらの都合にも合わせていただき、より正確な情報を持った職員が参加できるように工夫している。 ・頼りになる先輩ばかりです。	
㉑ 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	10			・必要に応じて行っている。保護者の同意を得て、学校の連絡帳や引継ぎも確認している。 ・他事業所での様子、学校での様子を普段から共有し、会議の場などでも密に関わっていることで連絡を取りやすい関係を築いている。 ・不登校児や、保護者からの情報が少ない家庭の場合は特にこまめに学校の担任と情報共有を行っている。(学校の個人懇談に参加することもある。) ・学校との情報共有は基本的に保護者に仲介していただき行っている。保護者に許可を頂いた際は直接学校とやり取りをすることもある。 ・トラブルがあった際はすぐに保護者に連絡し、連絡がつかない場合でもメールで詳細を送ることによって、安心していただけるようにしている。	

関係機関や保護者との連携	22	医療的なケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	5	5	<ul style="list-style-type: none"> ・導尿や投薬は保護者、医師からの指示書によって行っているが、常時の連絡体制までは整えることができていない。 ・アレルギーや身体的不利益に関してしっかり理解、共有しておくことで細心の注意を払った支援につながるよう努めている。 	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、情報の共有を行う場合があるが、必ずしも行っている訳ではない。 ・新一年生の情報が少ない。就学前の情報があれば支援計画を立てやすくなる。 ・保護者からの共有のみの場合が多い。今後は保護者からの引継ぎだけでなく、就学前に利用していた施設とも積極的に情報共有を行いたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・学校、保護者、相談支援事業所の求めに応じて、情報共有を行ったりケース会議に参加している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8	2		<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて行っているが、今年は事例としては少ない。
	26	放課後児童クラブや児童との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	3	4	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の兼ね合いもあり、行っていない。 ・地域の不登校児童対応施設から行事のお誘いを受け、参加している。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	8	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・参加、協力している。
	28	日ごろから子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	10			<ul style="list-style-type: none"> ・細かい内容や、学校での様子についても、保護者と共有するよう心がけている。 ・毎日の送迎や連絡帳でのやり取りはもちろん、電話やメールでの情報共有も大切にしている。 ・送迎時などで保護者と会う機会があればできるだけ情報共有をし、理解していただけるよう分かりやすく説明している。 ・毎日の送迎で直接話をするため、その際の情報共有は大切にしている。利用者本人のことは内容によってお送り後に電話をしたりメールで共有することがある。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	5	5		<ul style="list-style-type: none"> ・必要と判断したときに療育技法を助言したり、信頼関係を育み、ADLや生活習慣も含めた対応を一緒に探ったりと、個別のケースに合わせて行っている。 ・『すみすみ研修』を積極的に広報している。参加される保護者もいられる。 	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担について丁寧な説明を行っているか	9	1		<ul style="list-style-type: none"> ・契約時はもちろん、支援方法についてはその都度細かく説明を行っている。 ・保護者が不安にならないように説明をしている。 ・契約時だけでなく、不明な点はいつでも聞くことができる安心感を持っていただけるような関係作りを意識している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9	1		<ul style="list-style-type: none"> ・常に電話や来所までのご相談に応じている。必要な時は訪問相談にも伺っている。 ・悩みや相談があり電話連絡を下さった際には親身になって対応している。 ・利用日ではなく、学校生活の心配事を電話などで相談される保護者もおられ、安心してもらえるように声掛けや助言を行っている。 ・相談があった際に対応した職員が答えられない時は、対応職員を変えて対応している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	5	3	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の兼ね合いから行っていない。 ・年一回希望者に面談日を決めていただき行っているが、全体ではほとんど機会がない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	1		<ul style="list-style-type: none"> ・苦情、相談記録を残し、再発防止を行っている。 ・保護者が不安な気持ちにならないよう、苦情等はできるだけ迅速に対応している。 ・記録を残し、職員間ですぐに共有している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・メールにて、行事や外出企画等はお知らせしている。 ・個別の写真は毎月お渡しし、裏面にご様子を書いてお伝えしている。 ・会報誌での媒体ではなく、SNSツールや写真を渡して発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	10			<ul style="list-style-type: none"> ・十分に留意するよう心掛けている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	10			<ul style="list-style-type: none"> ・細かい気配りを常に心がけ、視覚支援等の療育技法等も共有できるようにしている。 ・個々の家庭の状況も可能な限り把握し、対応している。 ・常に新しい支援方法を考え、利用者1人1人に合った支援を行うようにしている。 ・色々なツールを使用している。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	4	1	<ul style="list-style-type: none"> ・同法人の別施設の行事案内を行っているが、今年は出来ていない。 ・今年度は新型コロナウイルス感染予防のため積極的に行っていない。 	
非常時の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	9	1		<ul style="list-style-type: none"> ・今年は特に消毒や緊急時対応等、繰り返しマニュアルを意識する機会が多く、保護者にも周知している。 ・職員間では周知するよう促している。保護者へは時期を見計ってメール等で伝えることもある。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9	1		<ul style="list-style-type: none"> ・月一回、シチュエーションを変えて訓練を行い、記録を残し、消防署にも報告を行っている。 ・毎月訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9	1		<ul style="list-style-type: none"> ・年に一回、必ず研修を受け、職員にOJTを行っている。 ・状況を見て対応する職員を交代する等、常に考えが固まってしまうように工夫している。 ・定期的に研修を受けている。
	41	どのような場合に止むを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に充分説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	9	1		<ul style="list-style-type: none"> ・どうしても必要な利用者があるなら、3要件に照らし合わせて拘束についての医師からの指示書をもらうようにしている。 ・ある程度の身体拘束がなければ怪我をしてしまう等がある場合、保護者と細かく情報共有して理解を得て、支援計画にも反映させて対応している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	10			<ul style="list-style-type: none"> ・保護者から情報をもらい、必要であれば医師の指示書を頂いている。 ・指示書に合わせて保護者と共有しながら慎重に対応している。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9	1		<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の会議で法人内同グループデイ事業所とも共有している。 ・一度の失敗を繰り返さないために記録を残し、次につなげている。 	